

第5学年 音楽科学習指導案

指導者 柴田 国香

- 1 題材名 曲想を味わおう
- 2 題材の目標 旋律の特徴や曲想の移り変わりに関心をもち、想像豊かに聴いたり、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって表現したりする。
- 3 主な〔共通事項〕 ア (ア) 旋律 (イ) 変化、問い合わせと答え
- 4 題材設定の意図
 - (1) 題材観
本題材は、楽曲の特徴を手掛かりとして、楽曲全体にわたる曲想とその変化をなどの特徴を感じ取って鑑賞したり、表現したりすることをねらいとしている。
 - (2) 児童の実態
音楽が好きな児童が多く、楽しく音楽活動に取り組んでいる。一方で、アンケートによる意識調査からは、リコーダーや鍵盤ハーモニカに対する苦手意識をもっている児童や楽譜を読むことが難しいと感じている児童がいることが分かった。鑑賞については、苦手意識をもっている児童がいないことが分かった。
 - (3) 指導観
指導に当たっては、毎回、授業の導入時に、楽曲的な内容のゲームを取り入れたり、リコーダーの奏法等を継続的に確認したりして基礎的な表現の能力を高めていくようにする。また、楽曲の構造を理解して聴くために、言語活動を通して、楽曲の特徴を手掛かりに、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取れるようにする。そして、表現と鑑賞の関連を図ることで、学習したことを生かしながら、自信をもって、進んで音楽活動に取り組めるようにしたい。
- 5 教材について
 - ④ 「だれかが口笛ふいた」 阪田寛夫 日本語詞／フランス民謡／石丸寛編曲
 - ⑤ 「ハンガリー舞曲 第5番」 ブラームス作曲／シュメリング編曲
 - ⑥ リズムアンサンブル
 - ⑦ 「キリマンジャロ」 ウォルフ・シュタイン・ウォルフガング・ヤス作曲／橋本祥路編曲

6 題材の評価規準

| ア 音楽への関心・意欲・態度 | イ 音楽表現の創意工夫 | ウ 音楽表現の技能 | エ 鑑賞の能力 |
|--|---|---------------------------------|-----------------------------------|
| ①歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌ったり合奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 ②楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聞く学習に主体的に取り組もうとしている。 | ①旋律を聴き取り、曲想やその変化を感じ取りながら、曲想を生かした表現などを工夫し、どのように歌ったり、演奏したりするかについて思いや意図をもつている。 | ①歌詞の内容や曲想を生かした表現で歌ったり演奏したりしている。 | ①楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴いている。 |
| | | | |

7 学習活動と評価の計画（7時間扱い）

| 次 | ねらい | 主な学習活動 | 〔共通事項〕 | 題材の評価規準 |
|------------|------------------------------|---|-------------------------|------------|
| 第1次 (1) | ○旋律の特徴を生かして歌う。 | ⑥ 「だれかが口笛ふいた」 ・音楽全体の感じをつかむ。 ・ア・イ・ウの旋律の特徴を調べ、旋律の特徴に合う歌い方を工夫する。 | 旋律 変化 | アー① イー① |
| 第2次 (2) | ○曲想の移り変わりを感じ取りながら聴く。 | ⑤ 「ハンガリー舞曲 第5番」 ・旋律を手掛かりに、曲想の変化を感じ取って聴く。 | 旋律 変化 強弱 | アー② エー① |
| | ○リズムや音色の組合せ、強弱による曲想の違いを感じ取る。 | ⑤ リズムアンサンブル ・アとイのリズムをリズム唱したり、拍の流れに合わせて手拍子をしたりする。 ・リズムや音色の組み合わせ、強弱を工夫して演奏する。 | | アー① イー① |
| 第3次 (4) | ○旋律の特徴や曲想の違いを感じ取って合奏をする。 | ⑥ 「キリマンジャロ」 ・音楽全体の感じをつかむ。 ・旋律の特徴に合った演奏の工夫をする。 | 旋律 変化 問い合わせ 答え | イー① |
| | | ⑥ 「キリマンジャロ」 ・鍵盤楽器1と2のパートを練習する。 ・主旋律と合わせて演奏する。 | | イー① |
| | | ⑥ 「キリマンジャロ」 ・リズム伴奏をつくったり、リズムに合った打楽器を選んだりする。 | | イー① |

| | | | |
|--|--|--|--------------------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・主旋律等と合わせて演奏する。 <p>【歌】「キリマンジャロ」, 【歌】「だれかが口笛ふいた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴や曲想の違いを生かして表現する。 | | <p>イー① ウー①</p> |
|--|--|--|--------------------|

8 本時の学習（第3次、第1時）

(1) ねらい

主旋律の特徴や曲想の違いを感じ取り、表現の工夫をする。

(2) 準備・資料

拡大楽譜、ワークシート、フラッシュカード、録音機材、

(3) 学習の展開

| 学習内容と主な学習活動 | 教師の働きかけ（◆評価規準） |
|--|---|
| <p>1 リズム遊びやフラッシュカードを行い、雰囲気づくりをする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>「キリマンジャロ」の二つの部分の旋律の特徴や変化に気をつけて、表現の工夫をしよう。</p> <p>(1) キリマンジャロのイメージをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・険しい感じ。・ごつごつしている。 ・大きい。・いろんな表情がある。 ・途中からイメージが変わる。 <p>(2) 課題をつかむ。</p> <p>3 旋律がかわる二つの部分の特徴から、表現の工夫をする。</p> <p>(1) アとイの曲想の違いを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書く。（個人） ・グループで共有する。 ・全体で共有する。 <p><予想される児童の反応></p> <p>○ア・けわしい・きびしい・かたい ・会話みたい</p> <p>○イ・なめらか・にぎやか・堂々としている・大きい</p> <p>○共通・・・問い合わせ、繰り返し（反復）</p> <p>(2) 二つの部分の旋律の違いから、表現の工</p> | <p>○音楽ゲームを行い、楽しい雰囲気のなかで活動できるようにする。</p> <p>○楽典的な内容をフラッシュカードで継続的に学習することで、基礎的な力が身に付けられるようにする。</p> <p>○写真を見たり、曲を聴いたりして感じたことを話し合うことで、曲のイメージがもてるようとする。</p> <p>○主旋律を取り上げることで、旋律の特徴や曲想の違いに気付けるようにする。</p> <p>○アとイの部分の曲想の違いをとらえ、言葉で表現し、共有することで、表現の方向性がつかめるようにする。</p> <p>○言葉に表せない児童には、自分の考えに合う音楽の言葉カードを使うように助言する。</p> <p>○「どうしてそう思ったのか」を問い合わせ、根拠をあきらかにすることで、旋律の違いなどに気付くことができるようとする。</p> <p>○曲想の違いと結び付けながら、旋律や問い合わせなど音楽的な特徴を基に表現の工夫</p> |

| | |
|---|---|
| <p>夫をする。</p> <p>○アの部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けわしい，かたい→スタッカート（音を短く）をはつきりさせる。 <p>○イの部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堂々とした感じ→2分音符をしっかりと伸ばす。 ・強い，大きい感じ→フォルテ，最後の音が高くなっていく ・なめらか・・・2分音符が多くでてくる。スタッカートがない。（主旋律） <p>※にぎやか：リズムに休符が入って変化している。（鍵盤1，2）</p> <p>○共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせと答えを意識する。問い合わせに対して答えているように。 <p>5 本時のまとめをし，次時の学習について知る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 全員で演奏し，振り返る。 (2) 感想を発表する。 | <p>を考えるように助言する。</p> <p>○黒板に拡大譜を掲示し，各々が考えた表現の工夫を書き，工夫点を視覚的にとらえやすくする。</p> <p>○工夫点を取り上げ，部分的に演奏して確かめながら進めることで，曲想の違いを感じ取つて表現に生かしていくようにする。</p> <p>○表現の工夫が考えられない児童には，個別に発問をし，アとイの旋律の違いを確認したり，その違いが分かるようにするためにには，どのように演奏をしたらよいかと投げかけたりして，自分の考えを持てるようにする。</p> <p>◆旋律を聴き取り，曲想やその変化を感じ取りながら，曲想を生かした表現などを工夫し，どのように歌ったり，演奏したりするかについて思いや意図をもっている。</p> <p style="text-align: right;">(観察・演奏聴取・学習カード)</p> <p>○演奏を録音し，それを聴いて気付いたことを話し合うことで，更によりよい表現となるよう工夫していこうとする意欲を高めたい。</p> |
|---|---|